



平成23年度（第13回）

学生生活 実態調査報告書



香川大学

まえがき

平成 23 年度の学生生活実態調査報告書がまとまりましたのでお届けします。昭和 61 年度に第 1 回調査を実施して以来、今回で 13 回目となりました。また、第 11 回調査で初めて導入された Web による調査も今回で 3 回目となりました。今回の調査では、在学生の 7.2% に当たる 400 名余りの学部学生さんから回答を得ることができました。回答して下さった皆さんには、ここに記して感謝いたします。ありがとうございました。ただ、手軽に回答でき、かつ迅速に集計できるということで始めた Web による調査だったわけですが、結果として以前に比べて回答者数が減少傾向にあります。次回調査に向けて、調査実施時期の見直しや周知の仕方など回答者数を増やすための工夫改善をしなければならないと考えています。

今回の調査項目は、学業、課外活動、国際交流などのキャンパスライフに関する 41 項目と住居、健康、ボランティア活動などの個人生活に関する 27 項目でした。詳しい結果は、後述しますが、本調査で明らかになった結果は、学習環境や生活環境の向上を図るための基礎資料として活用したいと考えています。これまでも、この調査で得られた回答を契機に平成 22 年には短期貸付制度が創設されたりしました。

よりよい学生生活を送るには、どのような支援が必要なのか、どのような施設・制度が不足しているのか、どこを改善していけばよいのか等、本調査は、さまざまな要求を大学として汲み取っていく手段の一つでもあります。そういう意味でも学生の皆さんの積極的な回答・入力に感謝したいと思います。

と同時に、香川大学が「地域に根ざした学生中心の大学」になるためにも、大学のもつ課題に対する学生の皆さんの積極的な関わり、現状に対する率直な意見や提案を今後とも出していただきたいと思います。

最後になりましたが、本報告書の作成にご尽力いただいた学生生活委員会の委員の方々、及び関係する職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成 24 年 3 月

教育担当理事
有馬道久

平成23年度学生生活実態調査部会構成員

理事（教育担当）	有馬道久
教育学部	池田清史
法学部	金宗郁
経済学部	犬飼知徳
医学部	飴野清
工学部	下川房男
農学部	柳智博
保健管理センター	杉岡正典

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の対象と方法	1
(4) 調査の内容及び項目	2
(5) 集計と報告書の作成	2

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について

1. あなたの属性について	3
2. あなたの通学方法について	5
3. 経済状況について	7

II. キャンパスライフについて

1. 学 業	9
(1) 学部・学科の満足度	9
(2) 今後の希望	10
(3) 1日の勉強時間	11
(4) 教員との交流	12
(5) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応	13
(6) 図書館の利用	14
(7) 図書館の利用目的	15
2. 課外活動	16
(1) サークルへの加入	16
(2) サークル加入の動機	17
(3) サークルの感想	18
(4) 学業との両立	19
(5) サークルに加入しない理由	20
3. 就 職	21
(1) 卒業後の進路	21
(2) 就職を考え始めた時期	22
(3) 希望する分野	23
(4) 職業選定で重視すること	24
(5) 就職希望地域	25
(6) 就職活動で不安なこと	26
(7) 就職について相談した相手	27
(8) 就職に関する大学への要望	28

4. 学生のキャリア意識	29
(1) 学生のキャリア意識	29
(2) 現時点での卒業後の進路	30
5. 国際交流について	31
(1) 海外渡航について	31
(2) 留学生との交流について	35
(3) 海外留学について	37
Ⅲ. 個人生活について	
1. 住居	44
(1) 住居の形態	44
(2) 入寮の検討	44
(3) 学生寮を選んだ理由	45
(4) 学生寮を選ばなかった理由	45
2. 健康	46
(1) 現在の健康状態	46
(2) 保健管理センターの利用について	47
(3) 身体の具合が悪くなってきたときの対処方法	49
(4) 飲酒について	50
(5) 喫煙について	51
(6) 1日の睡眠時間について	52
(7) 1日の食事の回数について	53
(8) 精神的ストレス	54
(9) ストレスの原因	55
(10) 悩みの対処方法	56
(11) 学内の友人関係	57
3. アルバイト	58
(1) 過去1年間のアルバイト経験	58
(2) アルバイトの主な職種	58
(3) アルバイト収入の使途	59
(4) アルバイトに費やす時間	59
(5) アルバイトと学業の関係	60
(6) アルバイトを選ぶ基準	60
4. ボランティア活動	61
(1) ボランティア活動の経験	61
(2) ボランティア活動の内容	62
(3) ボランティア活動の年間活動日数	63
(4) ボランティア活動への関心	64
(5) 今後やってみたいボランティア活動	65
第3章 自由記述への回答について	66

